

派遣求職者の意識実態

派遣求人サイト訪問における携帯電話の利用状況

インターネットによる、国内最大級の正社員、派遣、アルバイトの求人・転職情報サイトを運営するディップ株式会社では、自社保有のサイト会員や求職者向けにアンケート調査を行い、多様化するワークスタイルに対する意識の違いや傾向について、隔月で「Dip Report」として発信しています。今回は、「派遣のお仕事探し」にフォーカスしてお届けします。

「携帯電話」と「パソコン」の利用状況比較

携帯電話による派遣求人サイト利用率 61%

(携帯電話による派遣求人サイト利用アンケート結果より)

今年9月に厚生労働省がまとめた2006年の就労条件総合調査によると、今年1月1日現在で派遣労働者を活用している企業は36.7%と、3社に1社に上ることが分かりました。前回調査の1998年12月時点より、7年間で16.4ポイント増加。規制緩和で受け入れ先が大きく広がったことが原因だと思われます。企業の受け入れが進んだ結果、常用労働者に占める派遣社員の割合は12.4%と、前回調査の5.8%から2倍以上に膨らんでいます。

前回のDipReportでは「アルバイトの仕事探し」における「パソコン」と「携帯電話」の利用状況を検証しましたが、今回は「派遣の仕事探し」での「携帯電話」の役割を、「アルバイト」との比較を通して、探りたいと思います。その中から、派遣業務が大きな広がりを見せる中で、求職者はどのような手段で「派遣求人情報」に接しているか、検証したいと思います。

< 調査項目について >

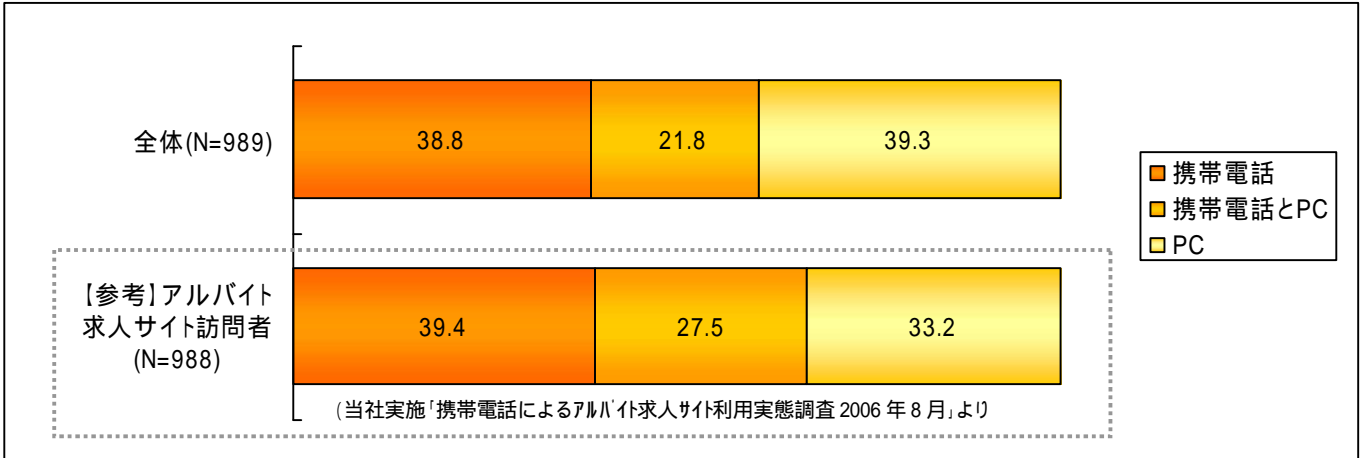
- グラフ1 あなたは派遣求人サイトを見る際、何を利用しますか。
グラフ2 派遣求人サイトを見る際、パソコンと携帯電話ではどちらが利用する頻度が多いですか。
グラフ3 以下にあげた状況において、パソコン・携帯電話のうち利用することが多いと思うものをそれぞれお選びください。
グラフ4 今後も、派遣求人サイトを見る際に、携帯電話を利用したいと思いませんか。

…当社実施「携帯電話による派遣求人サイト利用実態調査 2006年9月」より

有効回答者数	事前調査 989人
	本調査 554人

まず、派遣求人サイト訪問時における携帯電話利用率を確認します。

- グラフ1 あなたは派遣求人サイトを見る際、何を利用しますか。



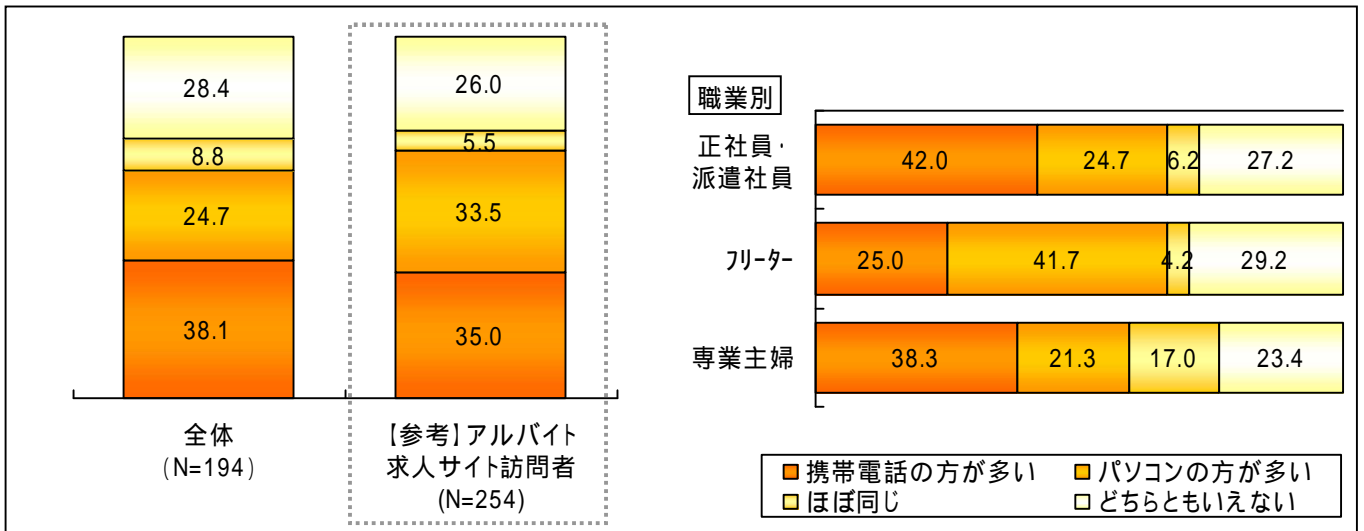
「携帯電話」が38.8%、「パソコン」が39.3%と、ほぼ同じ割合になりました。また「両方利用する」は22%です。パソコンとの併用者も含め、携帯電話利用者は61%に達しています。

前回調査した「アルバイト求人サイト訪問者」のデータと比較すると、「携帯電話のみ利用」の割合はほとんど変わりませんが、「パソコンのみ利用」は派遣求人サイト訪問者の方が6ポイント高くなっており、その分併用者の割合が低くなっています。つまり派遣求人サイト訪問者は、アルバイト求人サイト訪問者より、携帯電話の利用率が若干低くなっています。

次に、パソコンとの比較による、携帯電話の利用状況を検証していきます。

まず、「パソコン・携帯電話併用者」に対して、どちらを利用することが多いかを聞きました。

- グラフ2 派遣求人サイトを見る際、パソコンと携帯電話ではどちらが利用する頻度が多いですか。
(BASE：携帯電話とパソコンを併用している人)

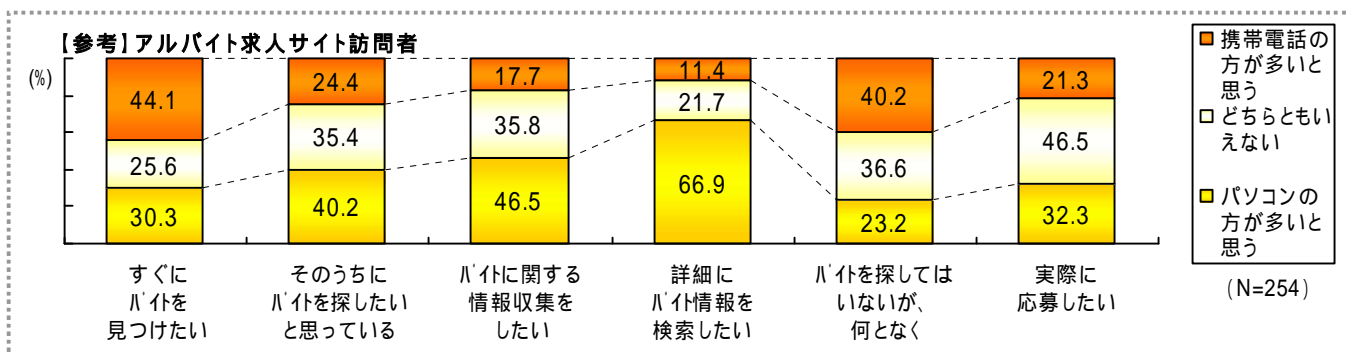
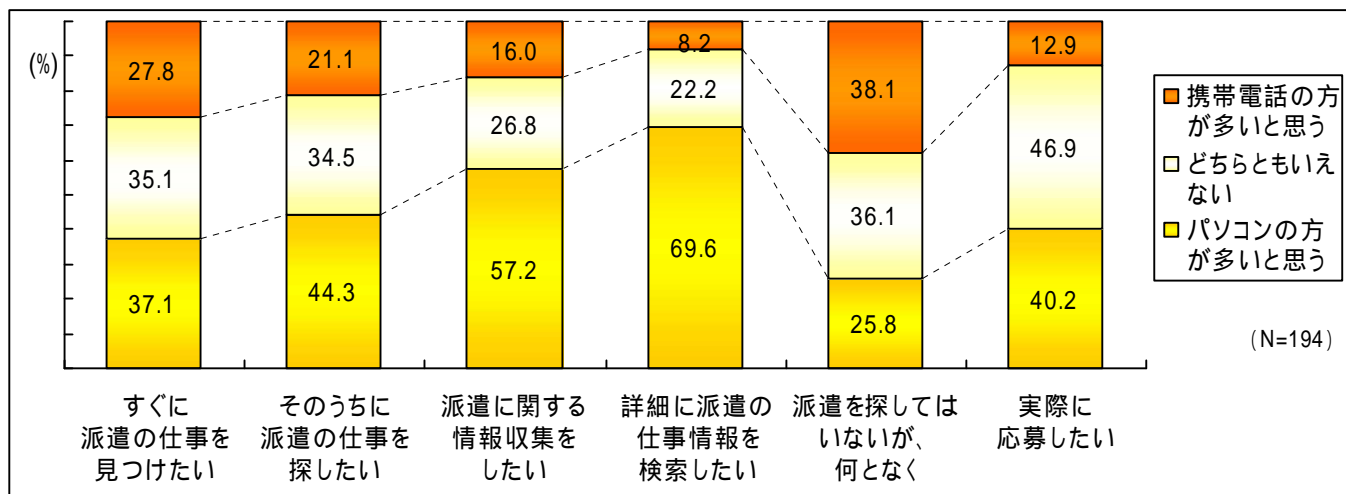


「携帯電話の方が多い」が38%、「パソコンの方が多い」が25%で、「携帯電話の方が多い」が13ポイント上回りました。また「(利用場所・目的等で使い分けるので)どちらともいえない」が28%を占めています。「アルバイト求人サイト訪問者」データと比較すると、「携帯電話の方が多い」が若干多くなり、また「パソコンの方が多い」の割合が9ポイント低くなっているのが目につきます。

属性別の傾向では、「フリーター」における「パソコンの方が多い」が42%と、「携帯電話の方が多い」を17ポイント上回っているのが目立ちます。

次に、派遣探しの各プロセスにおいて、パソコンと携帯電話のどちらが利用されることが多いかを確認しました。

- グラフ3 以下にあげた状況において、パソコン・携帯電話のうち利用することが多いと思うものをそれぞれお選びください。(BASE：携帯電話とパソコンを併用している人)



派遣求人サイト訪問者において、携帯電話の割合が高いのは「派遣を探してはいないが、何となく」(38%)で、その他はいずれもパソコンが携帯電話を上回っています。そしてこの傾向は、属性による相違があまりみられません。

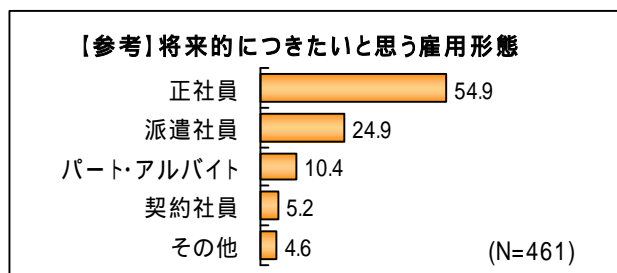
前回調査のアルバイト求人サイト訪問者では、「すぐにバイトを見つけたい」で携帯電話の割合が高くなりましたが、今回の「すぐに派遣の仕事を見つけたい」は、パソコンが携帯電話を上回り、「派遣の仕事探し」のプロセスにおいては、「アルバイトの仕事探し」よりも携帯電話の利用範囲が狭いことがうかがえます。

前回の DipReport で述べたように、「携帯電話」はアクセスの簡便性、またパソコンは情報検索の機能性において、それぞれ優れています。アルバイト求人サイト訪問者ではアクセスの簡便性が「すぐにバイトを見つけたい」時の携帯電話利用率アップにつながりましたが、派遣求人サイト訪問者ではそうした傾向はみられません。

このことから、「派遣の仕事探し」では、すぐに仕事を見つけたい場合でも、十分な情報の検索が、アルバイトの場合よりも強く必要とされていると考えられます(このことはグラフ1にみられる、派遣求人サイト訪問者全体におけるパソコン利用率が、アルバイト求人サイト訪問者より若干高いこととも関連すると思われます)。

しかしグラフ2をみると、パソコン・携帯電話併用者においては「携帯電話利用率」が「パソコン利用率」を上回っています。これについては、求人サイト訪問者の、「派遣の仕事」に関する意識が関係していると考えられます。

今年4月に当社で実施した調査によると、派遣求人サイト訪問者の55%は、将来的には正社員として就業したいという希望を持っています(右グラフを参照)。つまり派遣求人サイト訪問者は必ずしも「派

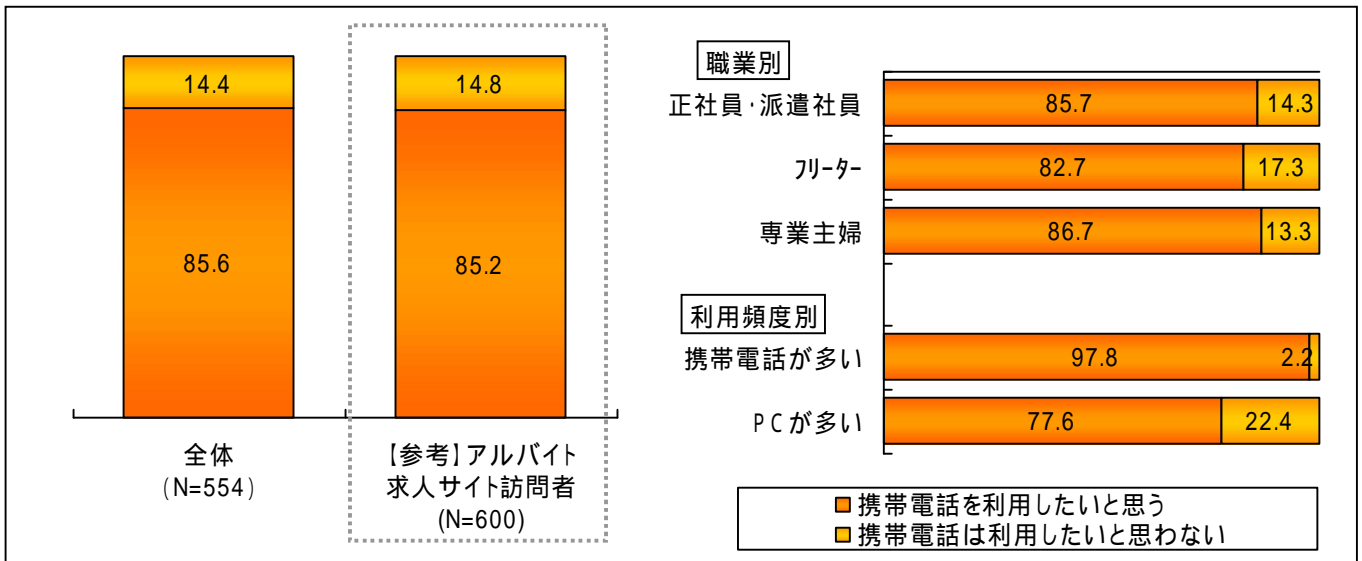


当社実施「はたらこねっとモニターアンケート2006年4月」より

遣社員」だけが希望の雇用形態ではなく、複数の選択肢のうちの1つと考えている人も多く含まれているのです。こうした人たちは、上記の各プロセスのうち「派遣を探してはいないが、何となく」に該当するケースが多いと思われます。そして派遣情報収集の第一歩として、アクセスしやすい携帯電話の利用が多くなると考えられます。

派遣求人サイト訪問者は、「派遣社員」という雇用形態について検討している段階では携帯電話を、また実際に「派遣の仕事を探す」段階に進んだ時点でパソコンを、それぞれ利用することが多くなるという傾向が推測されます。

- グラフ4 今後も、派遣求人サイトを見る際に、携帯電話を利用したいと思いますか。

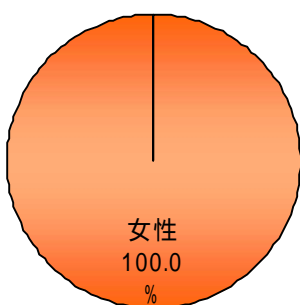


携帯電話の今後の利用意向を聞いたところ、86%が「利用したい」と回答しました。この割合は、アルバイト求人サイト訪問者のデータとほぼ同じで、派遣・アルバイトを問わず、求人サイト訪問者の携帯電話利用意向は強いといえるでしょう。

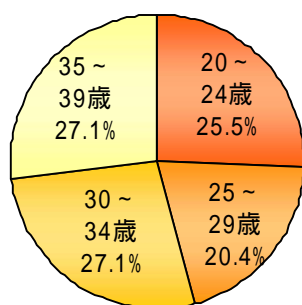
「携帯電話による派遣求人サイト利用実態調査」 調査概要

1. 調査手法： インターネット（モバイル）調査
2. 調査期間： 2006年9月22日（金）～9月29日（金）
3. 対象条件： 過去半年以内に派遣求人サイトを訪問したことがある女性（学生は除く）
4. 有効回答者数： 事前調査 989人
本調査 554人
（「本調査」は「携帯電話による派遣求人サイト訪問者」のみ対象）

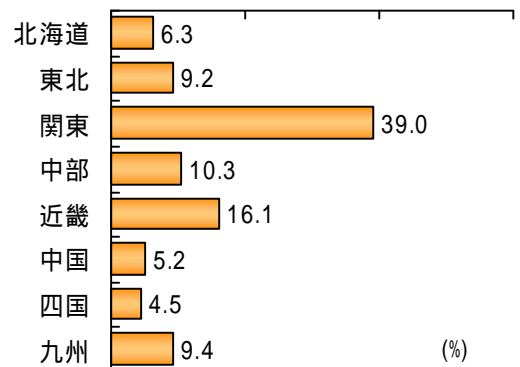
【男女比】



【年代別構成比】



【エリア比】



Dip Report で得た情報、集計結果を第三者に公開する場合には下記の表示をお願いいたします。
『総合求人情報サービスを行うディップ株式会社が発表した Dip Report による』

雇用環境が好転している今こそ、採用企業・求職者ともに、真のベストマッチが求められています。その実現のために、ディップでは、さらなる努力を続け、より多く「夢をかなえる仕事と出会う」機会を提供していきたいと考えております。

ディップ株式会社 会社概要 URL: <http://www.dip-net.co.jp/>

本社所在地: 〒106-6032 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 32F

設立: 1997年3月

代表者: 富田 英揮(代表取締役社長)

資本金: 10億7,937万円(2006年8月末現在)

従業員数: 624名(2006年8月末現在の正社員数 除 役員)

事業内容: インターネットによる求人・求職情報提供サービス

2004年5月東証マザーズ市場へ株式を上場

<この報道資料のお問い合わせ先>

ディップ株式会社 広報担当 : 村澤 真由美

TEL 03-5114-1179 / e-mail : info@dip-net.co.jp